

家族で楽しむお正月あそび

今回のホッとあひるでは、「お正月あそび」をいくつか紹介したいと思います。

お正月はお父さん、お母さんだけでなくおじいちゃんやおばあちゃんも一緒に集まってゆっくり子どもと関われる本当にいい時ですね。

そのお正月あそびの一部を由来などと共に紹介します。

【羽根突き】

江戸時代では、羽根つきで厄祓いできると信じられ、江戸時代には、年末になると邪気を祓うための羽子板を贈るようになっていたそうです。

羽根つきは1年の厄をはね、「子どもの健やかな成長を願うもの」として、親しまれてきました。打ち損じると顔に墨を塗るのも、魔除けのおまじないだそうです。



【凧あげ】

その昔「立春の季に空に向くは養生のひとつ」といわれたことから、立春に凧あげをするようになりました。昔は立春が新年です。ここからお正月の遊びとして定着しました。また、江戸時代には男の子の誕生祝いとして凧あげをするようになり、高くあがるほど子どもが元気に成長すると言われていたそうです。

より高く揚げて楽しむだけでなく、相手の凧を落としたり、糸を切ったりする「凧合戦」「凧喧嘩」などの遊び方もありますよ。

【こま回し】

世界最古の独楽（こま）は、エジプトで発見された4000年も昔のものだそうです。

日本へは、奈良時代に唐から高麗（こま）を経て伝来したので「こま」という名前になりました。遊び方も、独楽同士をぶつけ合って勝負したり、曲芸的な技を楽しんだりなどいろいろありますよ。

まだ遊んでおられない方は子どもと一緒に是非どうぞ～（＾＾）